



変額個人年金保険Ⅱ型2003

<20年運用コース>

特別勘定の月次運用レポート

2025年5月末現在

- 市場概況
- 特別勘定の運用状況
- 組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険の投資リスクについて

- 本商品は、年金額や解約払戻金額等がファンド(特別勘定)の運用実績に基づき変動するしくみの変額個人年金保険です。
- ファンド(特別勘定)の主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあり、ご契約者はこれらの投資リスクを負うことになります。
- したがって、運用成果によっては、お受け取りになる年金や解約払戻金等の合計額が、一時払保険料の額を下回る場合があり、損失が生じるおそれがあります。

ご契約者が負担する費用等について

ご契約期間中には、以下の費用をご負担いただきます。

- 契約初期費用 : なし
- 保険契約関係費用 : 資産残高に対して年率2.37%(消費税対象外)
- 運用関係費用 : 信託財産に対して最大で年率0.98375%(税抜0.95%)程度
投資信託にかかる信託報酬とマザーファンドが保有する外国投資証券にかかる信託報酬を合計した実質的な費用です。信託報酬は、投資対象である投資信託にかかる信託報酬年率0.37125%(税抜0.3375%)程度と、その投資対象である外国投資信託証券にかかる信託報酬年率0.6125%程度との合計年率0.98375%(税抜0.95%)程度となります。
- 年金管理費 : 受取年金額の1.0%(消費税対象外)
- 解約時費用 : ご契約日(増額日)から7年未満の解約・一部解約では、解約控除対象額※の最大7%が解約控除額として差し引かれます。
- 本商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用(「保険関係費用」「運用関係費用」)」と「年金受取期間中の費用(「年金管理費」)」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約時費用」がかかります。

※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っております。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

(管)ORI-089

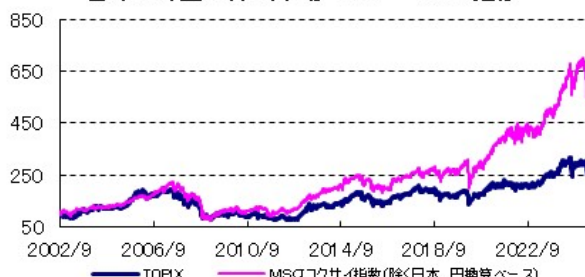
市 場 概 況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	5.33%	2.18%	▲ 0.64%	▲ 1.36%	39.17%
	TOPIX(東証株価指数)	5.03%	4.45%	4.51%	1.05%	46.47%
日本債券	NOMURA-BPI総合	▲ 1.29%	▲ 1.68%	▲ 3.16%	▲ 2.76%	▲ 8.66%
外国株式	MSCIコクサイ指数(除く日本、円換算ベース)	6.92%	▲ 1.65%	▲ 3.11%	3.77%	54.61%
外国債券	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	0.99%	▲ 0.12%	▲ 1.27%	▲ 1.39%	15.86%
外国為替	米ドル対円為替レート(仲値)	0.91%	▲ 3.88%	▲ 4.56%	▲ 8.21%	12.21%

日経平均株価(円)の推移



日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

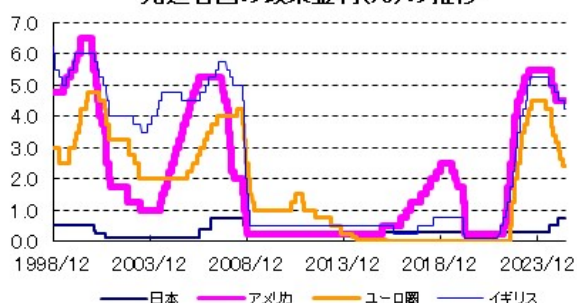


※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移



先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移



※上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移



全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定(ファンド)グループ

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産 合計 (百万円)
	株 式		債 券				投資 信託	現預金 その他	
	日本	外国	日本	外国					
日本株式インデックス ファンド FJ	●				MHAM TOPIXファンドVA *	アセットマネジメントOne株式会社	98.3%	1.7%	24
日本株式インデックス ファンド225 DKA	●				MHAM株式インデックスファンド 225VA *	アセットマネジメントOne株式会社	0.0%	0.0%	0
世界株式ファンド DK	●	●			MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり) *	アセットマネジメントOne株式会社	98.1%	1.9%	33
世界債券ファンド DI				●	DIAMグローバル・ボンド・ ポートVA(ヘッジなし)	アセットマネジメントOne株式会社	97.8%	2.2%	4
マネーファンド MC ※1			●		フィデリティ・マネー・プールVA *	フィデリティ投信株式会社	0.0%	100.0%	9

* 適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
MHAM TOPIXファンドVA *	マザーファンド受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。
MHAM株式インデックスファンド 225VA *	日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果を目指します。
MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり) *	主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な 成長を目指します。実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる 為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。 株式の価格変動リスク、為替リスク等があります。
DIAMグローバル・ボンド・ ポートVA(ヘッジなし)	日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)を上回る投 資成果の実現を目指します。なお実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。
フィデリティ・マネー・プールVA *	主に本邦通貨表示の公社債等に投資します。運用にあたっては、基準価額の安定と流動性の確保に最大限留意し ます。日本国内政府あるいは高格付け企業が発行する公社債等に投資し、金利変化やその他の市場要因からの感 応度を低く抑えて、高い安全性を維持します。

* 適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

※1 特別勘定「マネーファンドMC」の運用状況について

日本銀行によるマイナス金利導入を背景とする金利低下を受けまして、当特別勘定が主に投資する投資信託「フィデリティ・マネー・プールVA*」
において、安定的にプラスの収益を確保することが困難な状況となっております。
この状況を踏まえまして、一時的に投資信託の組入れを中止することを決定致しました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を
示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、
オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式インデックスファンド FJ



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	4.76%	4.86%	4.35%	0.57%	43.71%	107.80%

日本株式インデックスファンド225 DKA



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	-0.12%	37.71%	164.45%

世界株式ファンド DK



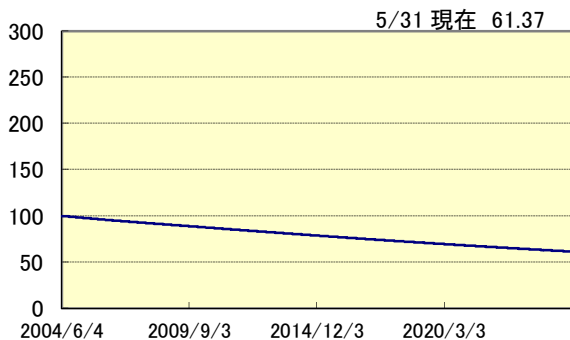
期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	6.72%	-2.13%	-4.03%	-0.28%	17.67%	171.77%

世界債券ファンド DI



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.33%	-1.14%	-2.98%	-4.36%	1.90%	10.23%

マネーファンド MC



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	-0.19%	-0.59%	-1.17%	-2.34%	-6.86%	-38.63%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド FJ

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM TOPIXファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

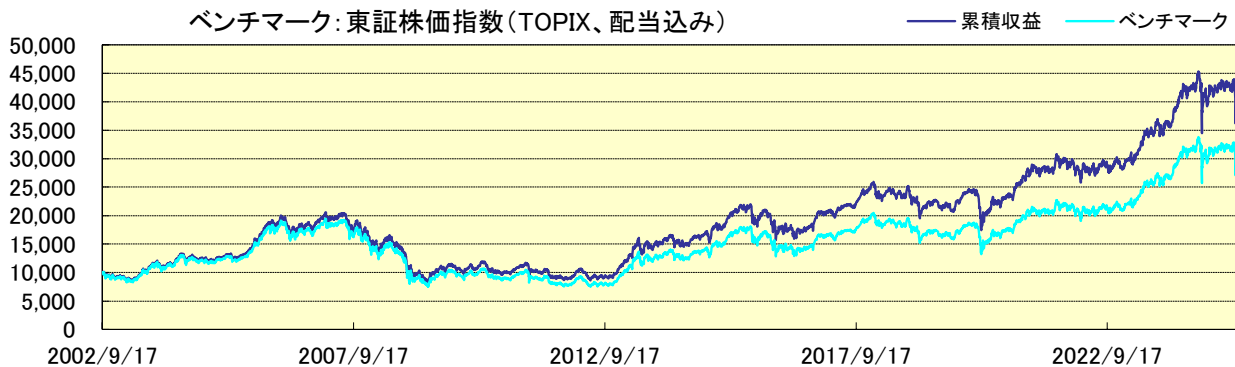
日本の上場株式。主に、国内株式バッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

設定来の運用実績-ファンドの累積収益とベンチマークの推移-

2025年5月30日現在



本資料における累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本とベンチマークをそれぞれ10,000として指数化。

東証株価指数(TOPIX)の指数値および東証株価指数(TOPIX)にかかる標準または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数(TOPIX)にかかる標準または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※2021年7月2日の約款変更により、ベンチマークは「TOPIX(東証株価指数)」から「東証株価指数(TOPIX、配当込み)」に変更されました。当資料ではベンチマークについて、2021年7月1日までは「TOPIX(東証株価指数)」、2021年7月2日以降は「東証株価指数(TOPIX、配当込み)」のデータを使用しています。

基準価額情報等

基準価額	44,284円
設定日	2002/9/18
純資産総額	149百万円
信託期間	無期限
決算日	原則3月10日

基準価額は信託報酬控除後の値です。
基準価額は10,000口当たりを表示しています。

資産構成比率

国内株現物	96.8%
国内株先物	3.3%
その他資産	-0.1%

その他資産は、100%から国内株現物・国内株先物の組入比率の合計を差し引いたものです。
上記組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

国内株組入銘柄数	1,675銘柄
----------	---------

基準価額騰落率-累積収益率-

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	5.06%	5.59%	5.71%	3.18%	56.06%	98.28%	342.84%
ベンチマーク	5.10%	5.69%	5.92%	3.58%	57.85%	97.48%	231.17%
差	-0.04%	-0.10%	-0.21%	-0.41%	-1.80%	0.80%	111.67%

累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

分配等実績(10,000口当たり、税引前)

2014/03/10	0円	2020/03/10	0円
2015/03/10	0円	2021/03/10	0円
2016/03/10	0円	2022/03/10	0円
2017/03/10	0円	2023/03/10	0円
2018/03/12	0円	2024/03/11	0円
2019/03/11	0円	2025/03/10	0円

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。

したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド FJ

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM TOPIXファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日本の上場株式。主に、国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

マザーファンド受益証券への投資を通じて、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)と連動する投資成果を目標として運用を行います。

組入上位10業種

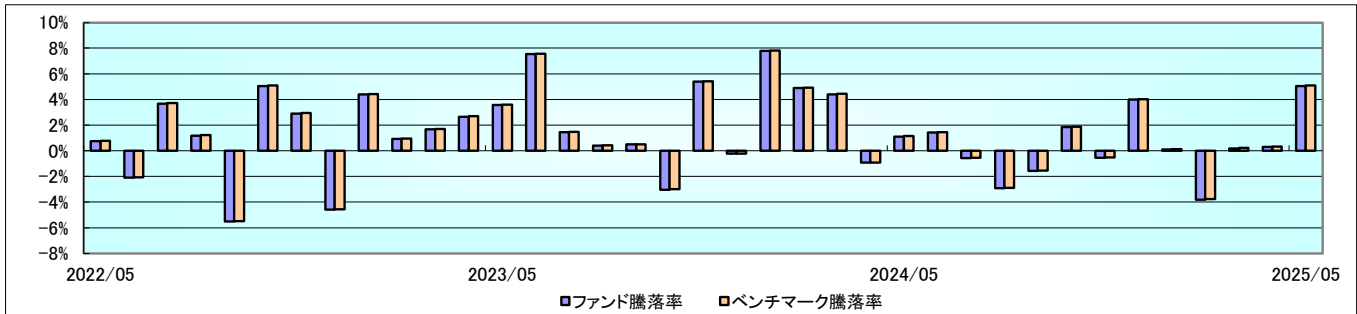
順位	業種名	ファンド	ベンチマーク	差
1	電気機器	17.4%	17.4%	-0.0%
2	銀行業	9.0%	9.0%	0.0%
3	情報・通信業	7.9%	7.9%	0.0%
4	輸送用機器	7.3%	7.3%	-0.0%
5	卸売業	7.0%	7.0%	0.0%
6	機械	5.9%	5.9%	0.0%
7	化学	4.8%	4.8%	0.0%
8	小売業	4.8%	4.8%	-0.0%
9	サービス業	4.5%	4.5%	-0.0%
10	医薬品	4.1%	4.1%	0.0%

組入上位10銘柄

下記組入比率は、保有株式に対する比率を表示しています。

順位	銘柄名	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.7%
2	ソニーグループ	電気機器	3.3%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.2%
4	日立製作所	電気機器	2.6%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.9%
6	任天堂	その他製品	1.9%
7	リクルートホールディングス	サービス業	1.7%
8	キーエンス	電気機器	1.5%
9	三菱重工業	機械	1.5%
10	東京海上ホールディングス	保険業	1.4%

ファンドとベンチマークの月次リターン推移(直近3年分)



投資環境

5月の東証株価指数(TOPIX、配当込み)は月間で5.10%上昇しました。上旬は、日銀が利上げを見送り円安が進行する中、米英の貿易協定合意や米中協議の進展期待などから上昇しました。中旬は、米中による大幅関税引き下げが好感されて上昇した後、為替が円高に転じたことや利益確定とみられる売りなどから下落に転じました。下旬は、米国の対EU(欧州連合)関税の延期や、米裁判所による関税差し止め判断などが好感されたことや、円高一服から上昇しました。東証33業種別指数では、「非鉄金属」「倉庫・運輸関連業」「機械」などが騰落率上位となり、一方で、「電気・ガス業」「パルプ・紙」「鉄鋼」などが騰落率下位となりました。

市場環境と今後の見通し

国内景気は、日米協議を経て、関税もある程度の引き下げが行われるとみられ、個人消費や設備投資を下支えに底堅い推移が期待されます。各国の通商政策が不透明な中、利上げはいったん様子見となる見込みです。国内株式市場は、米関税の世界景気への悪影響や円高進行リスクに伴う収益悪化が懸念されるものの、日米協議の合意期待や、企業による自社株買いなど資本効率改善に向けた動きが株価の支えになる見込みです。

お知らせ

今月のお知らせはありません。

- 当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- 特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- 各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 DKA

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM株式インデックスファンド225VA〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日経平均トータルリターン・インデックスに採用された銘柄(実質)。主に MHAM株式インデックス225マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

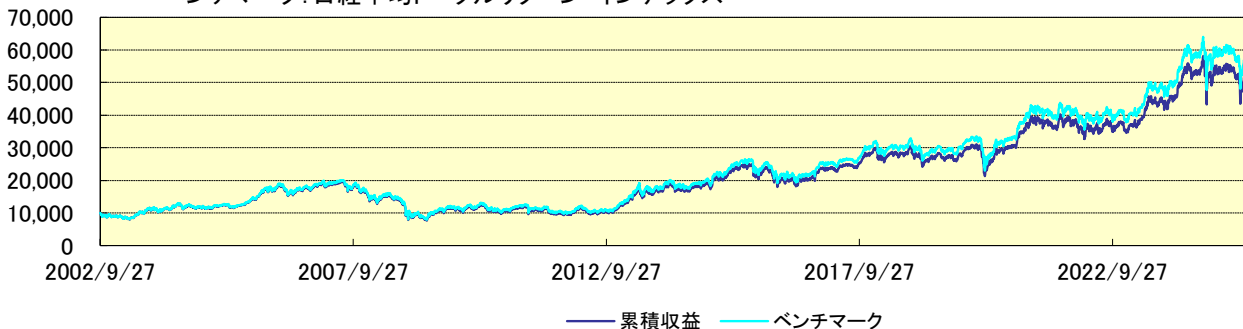
運用方針

- ・日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果を目指します。・株式の組入比率は高位を保ちます。
- ・原則として、日経平均トータルリターン・インデックス採用銘柄の中から200～225銘柄に、同指数における個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行います。

設定来の運用実績-ファンドの累積収益とベンチマークの推移-

2025年5月30日現在

ベンチマーク: 日経平均トータルリターン・インデックス



本資料における累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本とベンチマークをそれぞれ10,000として指数化。

*ベンチマークの変更に伴い、2025年1月31日基準のレポートから「配当込み」の指数にしました(以下同じ)。「日経平均株価」および「日経平均トータルリターン・インデックス」(以下、「日経平均株価」といいます。)に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。株式会社日本経済新聞社は「日経平均株価」を継続的に公表する義務を負うものではなく、その誤謬、遅延または中断に関して責任を負いません。また、当ファンドについて、株式会社日本経済新聞社は一切の責任を負うものではありません。

基準価額情報等

基準価額	49,951円
設定日	2002/9/30
純資産総額	426百万円
信託期間	無期限
決算日	原則3月15日

基準価額は信託報酬控除後の値です。
基準価額は10,000口当たりを表示しています。

基準価額騰落率-累積収益率-

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	5.32%	2.96%	0.21%	0.10%	45.90%	86.95%	430.11%
ベンチマーク	5.33%	3.04%	0.39%	0.55%	47.87%	90.91%	485.84%
差	-0.01%	-0.08%	-0.18%	-0.45%	-1.96%	-3.96%	-55.73%

累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

資産構成比率

国内株現物	97.4%
東証プライム	97.4%
東証スタンダード	0.0%
東証グロース	0.0%
その他市場	0.0%
国内株先物	2.5%
その他資産	0.0%

その他資産は、100%から国内株現物・国内株先物の組入比率の合計を差し引いたものです。
上記組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

分配等実績(10,000口当たり、税引前)

2014/03/17	0円	2020/03/16	0円
2015/03/16	0円	2021/03/15	0円
2016/03/15	0円	2022/03/15	0円
2017/03/15	0円	2023/03/15	0円
2018/03/15	0円	2024/03/15	0円
2019/03/15	0円	2025/03/17	0円

国内株組入銘柄数	225銘柄
----------	-------

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

日本株式インデックスファンド225 DKA

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM株式インデックスファンド225VA〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日経平均トータルリターン・インデックスに採用された銘柄(実質)。主に MHAM株式インデックス225マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

・日経平均トータルリターン・インデックスの動きに連動する投資成果を目指します。・株式の組入比率は高位を保ちます。
・原則として、日経平均トータルリターン・インデックス採用銘柄の中から200〜225銘柄に、同指数における個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行います。

組入上位10業種

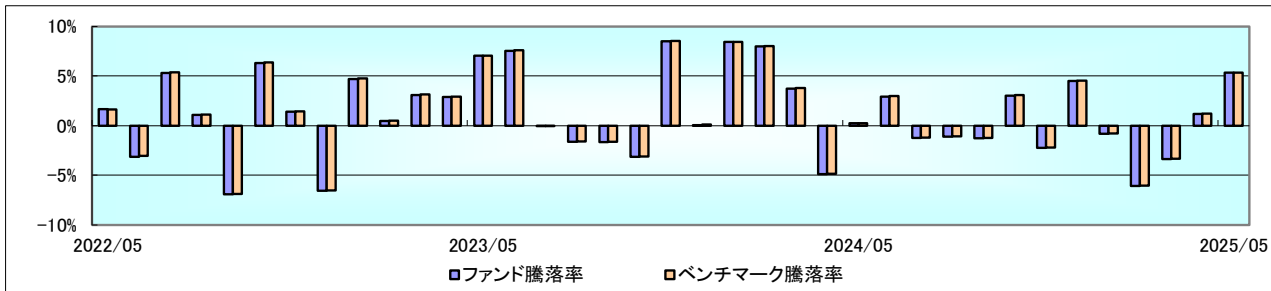
順位	業種名	比率
1	電気機器	24.6%
2	小売業	13.3%
3	情報・通信業	12.6%
4	医薬品	5.9%
5	化学	5.8%
6	サービス業	4.9%
7	機械	4.7%
8	輸送用機器	4.1%
9	精密機器	3.5%
10	卸売業	3.4%

組入上位10銘柄

順位	銘柄名	業種	比率
1	ファーストリテイリング	小売業	10.2%
2	東京エレクトロン	電気機器	6.0%
3	アドバンテスト	電気機器	5.2%
4	ソフトバンクグループ	情報・通信業	4.0%
5	KDDI	情報・通信業	2.6%
6	リクルートホールディングス	サービス業	2.3%
7	TDK	電気機器	2.1%
8	信越化学工業	化学	2.0%
9	中外製薬	医薬品	2.0%
10	テルモ	精密機器	1.9%

上記組入比率は、保有株式に対する比率を表示しています。

ファンドとベンチマークの月次リターン推移(直近3年分)



投資環境

5月の日経平均株価は前月末比で5.33%上昇し、月末は37,965.10円で終了しました。上旬は、日銀が利上げを見送り円安が進行する中、米英の貿易協定合意や米中協議の進展期待などから上昇しました。中旬は、米中による大幅関税引き下げが好感されて上昇した後、為替が円高に転じたことや利益確定とみられる売りなどから下落に転じました。下旬は、米国の対EU(欧州連合)関税の延期や、米裁判所による関税差し止め判断などが好感されたことや、円高一服から上昇しました。

市場環境と今後の見通し

国内景気は、日米協議を経て、関税もある程度の引き下げが行われるとみられ、個人消費や設備投資を下支えに底堅い推移が期待されます。各国の通商政策が不透明な中、利上げはいったん様子見となる見込みです。国内株式市場は、米関税の世界景気への悪影響や円高進行リスクに伴う収益悪化が懸念されるものの、日米協議の合意期待や、企業による自社株買いなど資本効率改善に向けた動きが株価の支えになる見込みです。

お知らせ

今月のお知らせはありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界株式ファンド DK

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり)
〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

世界各国の株式。主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資法人)(Xクラス)外国投資証券を通じて投資が行われます。

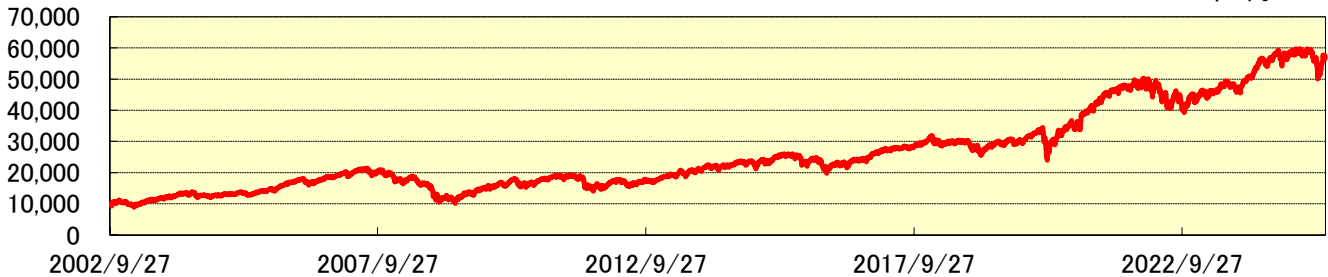
運用方針

主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。

設定来の運用実績-ファンドの累積収益の推移-

2025年5月30日現在



本資料における累積収益は、ファンドの決算時に収益分配があった場合にその分配金(税引前)を再投資したものととして算出したファンドの収益率を基に作成。ファンドの当初元本を10,000として指数化。

基準価額情報等

基準価額	55,025円
設定日	2002/9/30
純資産総額	58百万円
信託期間	無期限
決算日	原則3月16日

基準価額は信託報酬控除後

資産構成比率

外国投資証券	91.0%
その他資産	9.0%

その他資産は、100%から外国投資証券の組入比率の合計を差し引いたものです。

上記組入比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

基準価額騰落率-累積収益率-

1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	5年	設定来
7.1%	-1.6%	-3.0%	2.2%	26.5%	79.8%	473.8%

累積収益率は実際の投資家利回りとは異なります。

分配等実績(10,000口当たり、税引前)

2014/03/17	0円	2020/03/16	0円
2015/03/16	0円	2021/03/16	0円
2016/03/16	0円	2022/03/16	0円
2017/03/16	0円	2023/03/16	0円
2018/03/16	0円	2024/03/18	0円
2019/03/18	0円	2025/03/17	0円

投資環境(2025年5月)

5月の米国株式市場は上昇しました。上旬は、米英の貿易協定合意や米中協議の進展期待などから上昇しました。中旬は、米中による大幅関税引き下げを受けて上昇しました。下旬は、米長期金利上昇や米国の対EU(欧州連合)関税引き上げ示唆から下落しましたが、その後、対EU関税発動延期や米長期金利の落ち着きから下落幅を縮小しました。

5月の欧州株式市場は上昇しました。前半は、米英の貿易協定合意や米中協議の進展期待などから上昇しました。中旬は、米中による大幅関税引き下げが好感され、上昇しました。下旬は、米国が対EU関税引き上げを示唆し下落した後、対EU関税発動が延期されたことから下落幅を縮小しました。

5月のアジア・オセアニア株式市場は上昇しました。前半は、米中による大幅関税引き下げを受けて、株価は上昇しました。後半は、中国の景気減速や米国の貿易交渉に進展が見られないことなどが懸念され上値の重い展開となりました。

お知らせ

今月のお知らせはありません。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界株式ファンド DK

【特別勘定が投資する投資信託】

MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり)
〔適格機関投資家専用〕

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

世界各国の株式。主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資法人)(Xクラス)外国投資証券を通じて投資が行われます。

運用方針

主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。

実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。

<JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの資産組入状況> データ基準日:2025年4月30日

資産構成比率

国内株現物	4.1%
国内株先物	0.0%
外国株現物	94.5%
外国株先物	0.0%
外国投信	0.0%
その他資産	1.4%

その他資産は、100%から国内株および外国株の現物・先物、外国投信の組入比率の合計を差し引いたものです。

組入銘柄数

国内株組入銘柄数	4銘柄
外国株組入銘柄数	61銘柄
外国投信組入銘柄数	0銘柄

組入上位10カ国

順位	国名	比率
1	アメリカ	65.6%
2	アイルランド	5.0%
3	ドイツ	4.3%
4	フランス	4.1%
5	日本	4.1%
6	オランダ	4.0%
7	台湾	3.1%
8	スウェーデン	2.3%
9	香港	1.5%
10	シンガポール	1.1%

国名は法人登録国または地域を表示しています。

組入上位10業種

順位	業種名	比率
1	半導体・半導体製造装置	11.6%
2	資本財	9.8%
3	金融サービス	9.6%
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.3%
5	ソフトウェア・サービス	8.8%
6	一般消費財・サービス流通・小売り	7.8%
7	メディア・娯楽	6.7%
8	消費者サービス	6.2%
9	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.4%
10	銀行	4.4%

業種は世界産業分類基準(GICS)によるものです。

資産組入状況は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの運用会社であるJ.P. Morgan Asset Management社 から提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOneが算出および表示しています。

比率は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】 世界株式ファンド DK	【特別勘定が投資する投資信託】 MHAM/JPMグローバル株式VA Aコース(為替ヘッジあり) 〔適格機関投資家専用〕 【運用会社】 アセットマネジメントOne株式会社
主要投資対象 世界各国の株式。主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(ルクセンブルグ籍外国投資法人)(Xクラス)外国投資証券を通じて投資が行われます。	
運用方針 主としてMHAMモルガン グローバル株式マザーファンドが保有するJPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンド(Xクラス)外国投資証券への投資を通じて世界各国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の中・長期的な成長を目指します。 実質組入外貨建資産については、マザーファンドが保有する外国投資証券の組入資産にかかる為替エクスポージャーを含めた実質的な為替変動リスクについて、可能な限り為替ヘッジを行うことを原則とします。	

<JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの資産組入状況> データ基準日:2025年4月30日

組入上位10銘柄

順位	銘柄名 業種名	国名	組入 比率	特徴
1	MICROSOFT CORP ソフトウェア・サービス	アメリカ	7.2%	米国の大手ソフトウェアメーカー。コンピュータのオペレーティングシステム(OS)で高いシェアを有する他、サーバー用アプリケーション、クラウドサービスなどの提供も手掛ける。
2	AMAZON.COM INC 一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカ	6.0%	オンライン小売会社。多岐にわたる製品を販売。顧客別にかスタマイズされたショッピングサービス、ウェブ上でのクレジットカード決済、および顧客への直接配送を手掛ける。
3	META PLATFORMS INC-CLASS A メディア・娯楽	アメリカ	4.8%	ソーシャルテクノロジー会社。ユーザーをつなぎ、コミュニティを見つけ、事業の成長を支援するアプリケーションおよび技術を構築する。広告、拡張機能化、仮想現実も手掛ける。
4	NVIDIA CORP 半導体・半導体製造装置	アメリカ	4.4%	3次元(3D)グラフィックスプロセッサと関連ソフトウェアの設計・開発・販売会社。同社の製品は、主要パソコン向けに双方向3Dグラフィックスを提供する。
5	APPLE INC テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	2.8%	IT会社。スマートフォン、パソコン、タブレット、ウェアラブル端末、アクセサリーの設計、製造、販売に加え、各種関連アクセサリーの販売に従事。決済、デジタルコンテンツ、クラウド・広告サービスも手掛ける。消費者、中小企業、教育、企業、および政府機関の各市場を対象に世界各地で事業を展開。
6	SOUTHERN CO/THE 公益事業	アメリカ	2.3%	公益事業持株会社。子会社を通じて、米国南東部で発電、電力卸売・小売に従事する。無線通信、双方向ラジオ、電話、ポケットベル、インターネットアクセス・サービス事業も展開するほか、光ファイバー・ソリューションの卸売も手掛ける。
7	MUENCHENER RUECKVER AG-REG 保険	ドイツ	2.3%	金融サービス会社。再保険、保険、資産運用サービスを提供する。世界の主要な金融センターに子会社を所有。
8	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI 耐久消費財・アパレル	フランス	2.2%	高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。
9	MCDONALD'S CORP 消費者サービス	アメリカ	2.1%	ファーストフード・チェーンを運営。直営店とフランチャイズ店を世界で展開する。豊富な低価格帯メニューを提供。
10	JOHNSON & JOHNSON 医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ	2.0%	ヘルスケア製品メーカー。ヘルスケア製品を製造し、医薬品、医療機器・診断市場に製品とサービスを提供する。主な製品は、スキンケア・ヘアケア製品、アセトアミノフェン製品、医薬品、診断機器、手術用機器など。世界各地で事業を展開。

- ・国名は法人登録国または地域を表示しています。・当該個別銘柄の揭示は、銘柄推奨を目的としたものではありません。
- ・資産組入状況は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの運用会社であるJ.P. Morgan Asset Management社 から提供されたデータに基づき、アセットマネジメントOneが算出および表示しています。
- ・比率は、JPモルガン・ファンズ グローバル・フォーカス・ファンドの純資産総額に対する比率を表示しています。

運用概況

金融銘柄内で、株価上昇が基準価額にプラスに寄与した銘柄があった一方、一般消費財・サービス銘柄内で、株価下落が基準価額にマイナスに影響した銘柄がありました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。

・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。

・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界債券ファンド DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・ボンド・ポートVA(ヘッジなし)

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

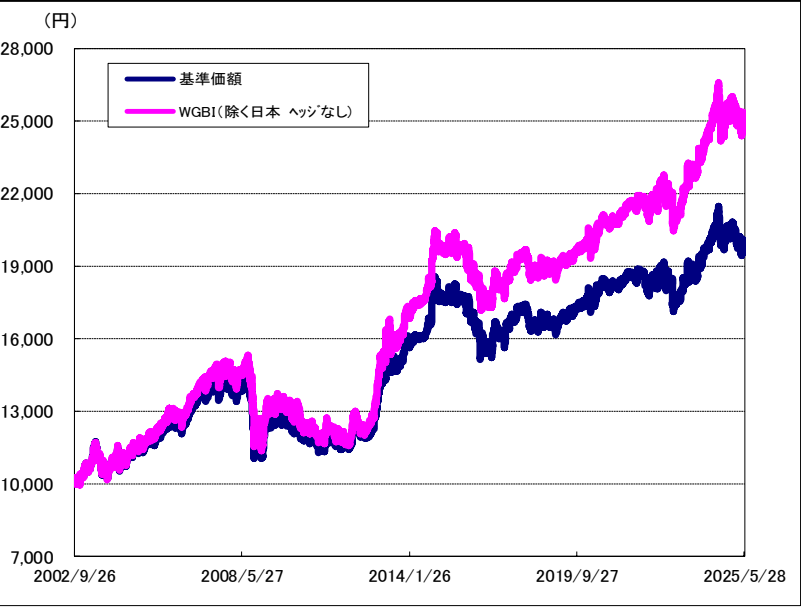
日本を除く世界主要国の公社債。主に、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、WGBI(FTSE世界国債インデックス 除く日本)を上回る投資成果の実現を目指します。なお実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

2025年5月末までの運用経過

基準価額の推移(税引前分配金再投資)



・WGBI(FTSE世界国債インデックス 除く日本)は当ファンド設定日前日の終値を10,000として指数化。
・分配金再投資後基準価額＝前日分配金再投資後基準価額×(当日基準価額÷前日基準価額)
(※決算日の当日基準価額は税引前分配金込み)
・基準価額は課税前の分配金を再投資したとして計算していますので、実際の基準価額と異なる場合があります。
・基準価額は信託報酬控除後です。

基準価額騰落率(税引前分配金再投資)

	1ヵ月 (2025/04/30)	3ヵ月 (2025/02/28)	6ヵ月 (2024/11/29)	1年 (2024/05/31)	3年 (2022/05/31)	5年 (2020/05/29)	設定来 (2002/09/27)
当ファンド	0.54%	-0.57%	-1.87%	-3.10%	8.36%	11.15%	98.47%
ベンチマーク	0.99%	-0.12%	-1.27%	-1.39%	15.86%	23.31%	150.25%
差	-0.46%	-0.44%	-0.60%	-1.71%	-7.50%	-12.16%	-51.78%

※当ファンド騰落率は課税前の分配金を再投資したものととして算出していますので、実際の投資家利回りと異なることがあります。

組入上位10銘柄

No	銘柄	クーポン	償還日	組入比率(%)
1	US T N/B 4.625 02/15/35	4.625%	2035/02/15	5.38
2	US T N/B 1.625 05/15/31	1.625%	2031/05/15	4.84
3	US T N/B 4.25 11/30/26	4.250%	2026/11/30	4.51
4	US T N/B 2.25 11/15/27	2.250%	2027/11/15	4.49
5	CHINA GOVERNMENT BOND 1.87 09/15/31	1.870%	2031/09/15	4.16
6	US T N/B 2.375 05/15/29	2.375%	2029/05/15	3.93
7	US T N/B 4.375 05/15/34	4.375%	2034/05/15	3.79
8	US T N/B 4.125 11/15/32	4.125%	2032/11/15	3.21
9	CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34	2.110%	2034/08/25	2.75
10	US T N/B 4.0 12/15/25	4.000%	2025/12/15	2.65

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

通貨別組入比率

	組入債券	為替予約	計
USドル	44.92%	-0.43%	44.49%
カナダ・ドル	1.88%	0.00%	1.88%
メキシコ・ペソ	0.79%	-0.03%	0.76%
イギリス・ポンド	5.41%	0.00%	5.41%
デンマーク・クローネ	0.26%	-0.03%	0.24%
ノルウェー・クローネ	0.18%	-0.02%	0.17%
ユーロ	29.45%	0.75%	30.20%
スウェーデン・クローネ	0.16%	0.02%	0.18%
ポーランド・ズロチ	0.60%	0.00%	0.60%
オーストラリア・ドル	2.12%	-0.85%	1.27%
ニュージーランド・ドル	0.00%	0.20%	0.20%
シンガポール・ドル	1.53%	-1.03%	0.50%
オフショア・人民元	10.23%	0.99%	11.22%
イスラエル・シェケル	0.00%	0.33%	0.33%
現金等	2.46%	-	-
合計	100.00%	-	-

※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

基準価額等の情報

基準価額	19,847円
解約価額	19,847円
純資産総額	87百万円
設定日	2002年9月27日
決算日	9月20日

マザーファンドの資産構成比率

実質組入比率	97.8%
内現物等組入比率	97.8%
内先物等組入比率	0.0%
現金等比率	2.2%
組入銘柄数	81

分配金情報(税引前)

	※直近3年分
第20期(2022.09.20)	0円
第21期(2023.09.20)	0円
第22期(2024.09.20)	0円
設定来累計分配金	0円

※分配金は1万円当たり。
※分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。

ポートフォリオの状況

平均複利回り	3.49%
平均クーポン	3.00%
平均残存期間	8.32
修正デュレーション	6.54

※マザーファンドにおける状況です(純資産総額を基に計算)。

種別構成比

	組入比率
国債	91.42%
政府機関債	0.49%
地方債	1.64%
現金等	6.45%
合計	100.00%

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※現金等には、残存期間が1年以下の債券を含みます。

格付別比率

	ファンド	銘柄数
A A A	10.19%	15
A A	61.08%	40
A	18.31%	15
B B B	8.24%	11
現金等	2.19%	0
合計	100.00%	81

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※2 格付については、海外格付機関(S&PおよびMoody's)による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S&Pの表記方法にあわせて表示しています。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定(ファンド)グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界債券ファンド DI

【特別勘定が投資する投資信託】

DIAMグローバル・ボンド・ポートVA（ヘッジなし）

【運用会社】

アセットマネジメントOne株式会社

主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債を主に、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運用方針

日本を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とし、WGBI（FTSE世界国債インデックス 除く日本）を上回る投資成果の実現を目指します。なお実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いません。

海外マクロ経済の動向

5月の金融市場では、主要国の国債利回りは上昇（価格は下落）しました。米国では、国債利回りは上昇しました。堅調な米雇用指標や、対中国での関税率の90日間引き下げ等を受けた米中間をはじめとする通商協議の進展期待に加え、格付け会社のMoody'sによる米国債格下げや、米議会における財政協議の予想外の進展による財政赤字拡大懸念を受け、米国資産の安全性に対する懸念等も重しとなり、月下旬にかけ利回りは上昇しました。その後は月末にかけ、利回りは小幅に低下（価格は上昇）しました。ユーロ圏でも国債利回りは上昇しました。米通商協議の進展期待や起債圧力を背景に月央にかけ利回りは上昇しました。その後、米国債格下げを受けたリスク回避姿勢の強まりや、米国による対EU関税の50%への引き上げ検討の発言などの関税政策の不透明感などを背景に、利回り低下が進む展開となり、その後は月末にかけ概ね月初の水準まで低下が続きしました。域内各国の対ドイツ国債利回り格差は、市場のリスクセンチメントの回復が続く中で、月中通じて縮小基調が継続しました。為替市場では、当月は、米ドルは円以外の主要通貨に対し下落しました。米雇用指標の堅調さや、米通商協議の進展期待を背景に月央にかけ米ドル高が進みましたが、その後は弱い消費関連指標、Moody'sによる米国債格下げや、米国による対EUなどの関税政策の不透明感から米ドル安がすすみました。円は主要通貨に対して下落しました。上記米ドルに連れた動きに加え、市場で日銀の利下げ時期見通しの後ずれが意識されたことなどが背景となりました。

- ・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
- ・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
- ・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。